

『それでも生きる』 教育部担当執事 奥田光子

2025年度も終わろうとしています。総会資料の教育部の課題の一つ「教会全体でみ言葉を学ぶ機会を支援していく」とありましたが、果たしてそれができたのか反省のもと、小さな私の出来事を書かせてください。◆先日、やっと東京バプテスト神学校の冬期公開講座 小友聡先生の「コヘレトの言葉」に学ぶ学習を終えました。大きな神様からの恵みをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。昨年の年末に開催された講座なのになんで今頃？と思われる方も多いかと思います。これは神学校の救済措置でビデオ学習を3月まで伸ばしてくださったからなのです。旧約でも解釈が難しいコヘレトをなんで私が受講したかといいますと、愛する竹村紀彦さんが「小友聡先生は大変優れた神学者です。ぜひ受けられるといいですね。」と私の背中を押してくださったからです。不勉強の私に神様はまた「学びなさい」と機会を与えてくださいました。多くのみ言葉より、励ましを受けましたのでみなさんと分かち合いたいと思います。◆以下小友聡先生の講義の資料より抜粋します。◇難解なコヘレト書を反黙示思想という視点から読み解く試みをした。～この書が旧約聖書にあることは決してむしろ偶然でもなければ、誤りでもなく、積極的な意義があることを知っていただければ幸いである。「へベル」は「空しさ」と訳されるが時間的な短さ、つまり「束の間」を意味している。～人生の残りの時間が短ければ短いほどその時間は意味を増すからであり、かけがえのない「神の賜物」となるからである。へベルだからこそ徹底して生きよ！とコヘレトは言うのです。3:13～「またすべての人は食べ、飲み、その労苦によって満足する。これこそが神の賜物」～へベルがわかるとき日常の小さな出来事において幸せを感じる「神からの賜物だ」と。4:9「1人より2人が良い。共に労苦すれば、その報いはよい。」9:10「何によらず手をつけたことは熱心にするがよい。」11:2「7人と8人とすら、分かち合っておけ。」11:6「朝、種を蒔け。夜にも手を休めるな。」～へベルを連発するコヘレトが一方でこのような積極的な提言をするのである。12:7a「塵は元の大地に帰り」12:7b「霊は与え主である神に帰り」～注目すべきことは、コヘレトは宇宙論的思考から人間論的思考に転換することです。いつ終わりが来ても悔いのない生き方に徹すること。旧約にはダニエル書のように黙示的方向を示すものだけではなく、コヘレト書のように反黙示的方向を示すものもまた含まれているのである。◆みなさん！み言葉をご一緒に学びましょう。教会学校オープンクラスが3/8開催されます。ぜひ参加してください。もっと学びを深めたい方、東京バプテスト神学校2026年度の講座の案内が来ています。前期は吉田真司先生が「説教学」を担当され、当教会より2名の方が受講されることになりました。信徒説教者が新たに生まれる大きな出来事となります。どうぞみなさんのお祈りに覚えていただき、お支えして参りたいと思います。新年度から「読み聞かせの会」が再開される予定です。奉仕者を募集しております。へベルの時を神様に感謝してお捧げしていこうではありませんか。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝) 午前10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校 (嬰兒、幼児、小学生、中高生、 青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)	日曜日	午前 9:30～10:20
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三火曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>